

共通専門基礎科目	からだのしくみと医療					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	後期	1年次
臨床検査学科	必修					
科目名	薬理学 Pharmacology					
担当教員	上田睦明					
目的	投与された薬がどのような仕組みで生体に対し多様な影響を及ぼすのかという基本原理を理解する。					
目標	薬理作用の基本的な仕組みを理解できる。 薬物動態学の基本的な考え方を理解できる。 また、医薬品の取り扱いや医薬品に関わる法令についても理解できる。					
他科目との関連	生化学・解剖生理学・病態生理学等が基盤となる。					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[3] 薬理学（第13版）（医学書					
参考資料	ナーシング・グラフィカ4 疾病の成り立ち―臨床薬理学（メディカ出版）					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	教科書をよく読む。					